



## 多摩美術大学校友会会報

# alt

The alumni association of  
Tama Art University

No. 9  
2003 Autumn

発行日：2003年11月20日

編集発行：多摩美術大学校友会事務局

〒158-8558 東京都世田谷区上野毛3-15-34 多摩美術大学内

tel : 03-5758-7738

fax : 03-5758-7739

e-mail : kouyukai@tamabi.ac.jp

<http://www.tamabi.ac.jp/alt/>

会報誌名「alt」（アルティ）  
は英文表記の  
The alumni association of  
Tama Art University  
を略して、  
創作した名称です。

- 新規事業の経過報告
- 新役員のご紹介
- 奨学金制度（私費留学生奖学金・校友会奖学金）
- 大学よりお知らせ（「多摩美術大学70年史」資料収集について）



### 会長挨拶 新規事業について

東海林 隆 ('57回卒)

株式会社博報堂DYホールディングス 会長

先達たちの献身的なご努力でスタートした校友会も8年がたちました。皆さまのご支援でようやく基盤が整ってきました。しかし、まだ発展途上に変わりはありません。もっと多くの方々に关心を持っていただきたいものです。その一つの方法として新規事業を始めたいと考え、昨年の総会で提案致しました。その後、皆様から数多くのアイデアを頂きました。それを基に担当の理事の方々を中心に1年にわたり検討してきました。ようやく理事会にお計りし、全員の賛同を得てテーマを設定することができました（詳しい内容は裏面をご覧下さい）。皆様の一層のご支援を賜りたく、新規事業のねらいをもう一度申し上げたいと存じます。

1 校友会会員は準会員を含め約3万名です。その中でなんらかのかたちで校友会活動に参加している方は極少数です。活動を積極化し校友会を発展させていくには参加者を増やしていくことが必要です。それには内部活動だけではなく、外に向かう社会的に意味のある活動をすることで会員の関心を集め、少しでも参加者の増加につなげていきたいと考えます。

2 会費を納入している会員は、在学中納入した若い方では100%，先輩会員では約10%です。活動は会員すべてに平等であるべきですが、現実的には会費を納入した会員を重視しなければ運営できません。これから校友会の発展を考えれば、準会員を含めた若い会員に校友会の存在意義を啓蒙していくことが必要です。新規事業はその一助になればと思います。

3 日本はこの半世紀経済成長で豊かになりましたが、昨今の10年はゆきづまり、次の時代を模索しています。それを切り開くには、経済的な豊さだけでなく、文化的な豊さを構築していくことが大切です。しかし現実的には子供への教育の中で感性的な教育は退行しています。アートを志すものとして、未来のために見逃せません。子供たちへアートの素晴らしさを伝えていくことは先輩としての務めではないでしょうか。

# 新規事業の経過報告 新規事業企画報告書

1 テーマ選定：2002年10月～2003年3月の期間、会員からアイデア募集。

募集方法：役員宛郵送 約150通 会報へ記載 約17,000通

選定基準：未来に広がる時代の流れに沿ったもの／持続可能なものの（少なくとも10年継続）／オリジナリティの高いもの／広く会員が参加できるもの／予算500万円

他の要件：準会員の参加促進／地方支部との協調／大学や生涯学習との差別化／卒業生の入会促進／2005年の校友会10周年（大学70周年）

外的要素：美術（情操）教育の後退、（不景気による）世情不安、少子／高齢化、情報化、国際化、成熟化、環境重視化

応募数：37件（アイデアを分類し、方向性の確認）

大分類：コンクール・展覧会／作品販売・プロデュース／講演会・講座・授業

方向性：子供にアートの楽しみ・喜びを与え感動を発見させる／アートによる社会活動（奉仕）で、癒しを与える／アートの底辺を広げる／国際交流をアートで実現する

2 事業コンセプト発見のためのアイデアマップ作成

3 具体案選定に向け回りを取り囲む社会と校友会の接点を考える

4 総合的に検討し、応募案中62%を占めたコンセプトをもとに具体案を理事会・幹事会で提示し、承認を得る

【コンセプトA】多摩美リトルリーグ事業（背景となるニーズ：体験欲求・自営欲求）

目標：アートを子供に向けた教育素材として有効活用する。美術との接触機会、創作機会を通じて子供たちに「表現の楽しさ」を伝え、将来の健全な発育のために真の情操教育を広める。

ターゲット：10代前半までの子供たち及び、情操教育、非偏差値的教育に意識的な指導者と親／小中学校の生徒と教員層／美術館など市民施設の利用者と運営者／地域教育委員会／民間のコミュニティ組織

具体案：「ファミリーアートキャンプ」「絵の赤ペン先生」「小学校ビジュアル日記帳」

選択案：「ファミリーアートキャンプ」親子の〔対話・制作・発表・交流〕のイベント

実施要件：校友会の若手会員を巻き込む仕組みづくり／広く参加者を集める施策（旅行代理店やJRとのタイアップも検討）／事務局の設置とリスク管理

【コンセプトB】アートコネクション事業（背景となるニーズ：樂習欲求・交感欲求）

目標：アートを通して人と人をつなげる。年代・地域・文化の異なる人々が美術について語り合い作品を創り合う、その交流の場を社会に提供し日本における文化の活性化を促す。

ターゲット：美術体験や創作活動を通じて、コミュニケーションと人間関係を豊かにしたいと考える人々／異文化との出会いを求める若者／体験と思い出の共有を求める親子／世代間の触れ合いを求めるシルバー層／異なる地域との交流を深めたい人々

具体案：「出前アート大学」「Internet アートの森」「ASIAアート交流展

選択案：「出前アート大学」多摩美卒業生を課外授業講師として派遣

実施要件：多摩美関係者を派遣講師として組織化（学生から卒業生の中まで幅広く）／活動を広く社会に知らしめる広報施策／希望者の受付・管理事務局の設置

5 2003年10月25日の理事会で、【コンセプトB】アートコネクション事業：「出前アート大学」の実施について承認されました。

今後、具体的な運営については、さらに皆さまのご協力が必要となってきます。詳細について、ご質問・ご意見などございましたら、校友会事務局までお問い合わせください。

## 新規事業担当者

会長：東海林隆（'57国際）／副会長：稻垣行一郎（'59国平）、鶴見雅夫（'59油画）／専任理事：金岡岩雄（'58油画）／事務局長：和田達也（'81PD）／事業部：茂木一成（'60国平）、前田ミサオ（'60国平）、田辺光彰（'61彫刻）、清水満久（'71GD）、富岡俊樹（'66立体）、檜垣檀（'68染織）、青戸英子（'67染織）、河内成幸（'73油画）、田代孝一郎（'76建築）／新規事業部準備G：須田基揮（'74油画）、菅原公毅（'81PD）、塩川岳（'91油画）／アドバイザー：上村二基（'64国平）、和田則夫（'77PD）

## 支部・有志活動ニュース

### ■お知らせ 初めての海外支部！ニューヨーク支部設立準備中

新世紀3年、このニューヨークという地に、私達は校友会支部としての「多摩美校友会ニューヨーククラブ」を発足させます。同窓の絆と親睦の中、芸術の、デザインの可能性を語り合い、明日の行方を共に考えましょう。この新しい領域の探求者へ多数の参加を呼びかけます。この会は全米大陸に居住の同窓生、一時的住籍者、過去及び現在の教職員に開かれています。会発足レセプションを来る12月6日午後6時より、会の臨時本部 361 West 36 Street New York, NY 10018 に於て開催いたします。発足会員としてこぞって御出席ください。

御質問、出席是非の連絡は西川 lovepeacetn@aol.com までお願ひいたします。一時的に訪米を計画される日本在住者の会員参加も可能です。



準備会一同  
中里齊('60油画), 池上美和子('63国画), 越光桂子('80油画), 松窪英二('80油画), 喜藤一峰('80油画), 西川敏子('83油画), 渡辺啓子('83油画)

### ■ご報告 福岡支部

展覧会 「校友会福岡支部小品展」

2003年3月4日(火)～9日(日) ギャラリーSEL

展覧会 「第3回九州地区多摩美術大学校友会展」

2003年10月21日(火)～26日(日) 福岡市美術館 特別展示室B

### ■ご報告 京都支部

「春の会」作品鑑賞と親睦会

2003年3月22日(土) 弥衡門画廊・味処花

### ■ご報告 神奈川支部

展覧会 「多摩美術大学校友会神奈川展」

2003年4月14日(月)～20日(日) 神奈川県民ホールギャラリー

### ■ご報告 静岡支部

平成15・16年度総会&お食事会

2003年7月10日(木) 坐坊ZABOU

### ■ご報告 千葉支部

平成15年度千葉多摩美会総会・懇親会

2003年5月20日(火) オークラ千葉ホテル ラウンジトレビ1F  
展覧会「第6回千葉多摩美会展」

2003年5月20日(火)～25日(日) 千葉県立美術館



### ■ご報告 富山支部設立準備中

サマーキャンプin有峰

2003年8月16日(土)～17日(日) 有峰森林文化村 有峰ハウス



サマーキャンプの様子



### ■ご報告 群馬支部

オープンキャンパス2003バスツアー

2003年7月12日(土) 高崎駅から本学八王子キャンパスへ

### ■ご報告 広島支部

展覧会「2003 TAMABI 16人展」

2003年7月31日(木)～8月6日(水)

福屋八丁堀本店7階美術画廊

### ■ご報告 神奈川同窓会ALTE

展覧会「2003 festa ALTE」

2003年11月10日(月)～18日(火) ガレリア・セルテ

# チャリティ展覧会 多摩美術大学校友会小品展2003

1998年から毎年末に開催している「小品展」は、大変意義深い行事です。そもそも、「近年、学費の支払いや生活に困っている私費留学生が多い。彼らの制作・研究の手助けができないものか。」という幹事の話が始まりでした。しかし、校友会自身もまだ資金面で体力のある状態ではなく、なかなか予算化までふみきることができませんでした。そこで考えられたのが、会員の作品による「チャリティ販売」です。売り上げ金を私費留学生に奨学生として給付します。多くの会員の方々に関わっていただいているお陰で、年々売上げは伸び続けています。今年は京橋での開催です。通常の展示会とはひと味違う、会員の交流の場として楽しんでいただけるよう色々と準備が進んでいます。会場にいらした皆さんをお迎えするのが楽しみです。

今回のご出品の申し込みは締切りとなりましたが、毎年9月～10月頃に募集していますので、次の機会には、卒業生の皆様のご出品をお願いいたします。

会期：2003年12月8日（月）～14日（日）10:00～19:00

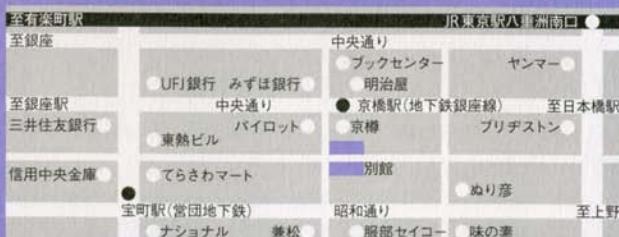
初日17:00オープニングパーティ／最終日15:00 CLOSE

会場：ギャラリーくぼた別館（東京都中央区京橋2-10-9）

電話：03-3563-0007（会場）



昨年度の会場の様子



交通：地下鉄銀座線京橋駅6番口から徒歩1分、都営地下鉄浅草線宝町駅A6出口より徒歩2分、JR東京駅八重洲南口より徒歩10分

# 奨学金制度

## ■平成15年度私費留学奨学生

### ○美術学部

李殷奉（イ・ウンボン、韓国）生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻3年、  
吳貞南（オ・チョンナム、韓国）絵画学科日本画専攻4年、尹超（イン・  
チョウ、中国）グラフィックデザイン学科4年

### ○大学院美術研究科

吳東珉（オ・ドンミン、韓国）博士前期課程（修士課程）彫刻専攻1年、金榮（キム・ヨン、韓国）博士前期課程（修士課程）デザイン専攻（テキスタイルデザイ  
ン）2年



6月1日（日）の授与式にて

## ■平成15年度校友会奨学生

### ○美術学部

藏野春生 絵画学科油画専攻3年、千田豊実 絵画学科油画専攻3年、松澤博子  
絵画学科油画専攻3年、設楽弥生 情報デザイン学科3年、北野茜 絵画学科油画専  
攻4年、村井基夏 彫刻学科4年、乙津理絵子 情報デザイン学科4年

### ○造形表現学部

横島藍 造形学科3年、井澤栄美子 デザイン学科4年、石田栄 デザイン学科4  
年、吉本千尋 映像演劇学科4年、竹綱綾乃 映像演劇学科4年

### ○大学院美術研究科

清水大徳 博士前期課程（修士課程）デザイン専攻（環境デザイン）1年、柏原裕子  
博士前期課程（修士課程）絵画専攻（日本画）2年、金柱鎬 博士後期課程美術専攻1年



10月25日（土）の授与式、会長とともに

## 新役員のご紹介



理事・中森陽三 ('59 油画)

学校では、生徒さんと新聞広告をテーマに制作に取り組んでおります。若い斬新なアイデアに翻弄されながらです。社会では卒業生と一緒に新聞広告に取り組んだり、プレゼンテーションの場では強力なライバルとして競い合うこともあります。偶然電車や街の中で会うこともあります。広告賞の審査員として出席した授賞式で、脚光を浴びる卒業生に会えるのはとても嬉しいことです。これからはますます卒業生に会う機会がふえることでしょう。社会で活躍する元気な姿を見るためにしっかりお役に立ちたいと思います。



理事・千葉支部長 神谷紀雄 ('63 彫刻)

多摩美を卒業して40年ちかくなり、上野毛にあった学部も、八王子に移り、卒業した学生も3万人近いとのこと、喜ばしい事である。卒業生がそれぞれの道で活躍し、多摩美術大学が年々大きな名前になってゆくのが楽しみでもあり、その名前をけがさない様に自分で選んだ道を一步でも先に進める様、これからも励もうと思う。それが自分の為であり、学校の為になる事を信じながら。



理事・中野嘉之 ('68 油画)

校友会が立ち上ってからの時間の経過を感じております。他校とは比較にならない程ですが、近年の校友会の活動が活発化している事に驚いております。和田事務局長の働きの賜物と思っています。  
第1回総会での議長役をやらせていただいたのですが、しばらく他の役員の方々にお願いし、又今戻って校友会の動きの中で、協力してゆきたいと思っています。歴代の事務局長渡辺氏の御苦労にも感じ入っております。その土台が今にあるのだろうと思う。資金を集めることも大切ですが、校友会の会員に何を生み出すか、その素地の役割が出来るかどうか! だと思っております。  
校友会が大いに翔ける事を願っております。



理事・田中康夫 ('71 油画)

卒業生、現役生の中にある多摩美大DNAというか「自由」「意力」という基層の流れを見つめるOB・OGの心の動きを会議の都度感じている。今という時代の危うさ、老人も壮年も若者もいま相当きわどいところに立っているのではないのだろうか。変わるものと変わらないもの不易流行、自分たちにとって大事なもの、価値を探していくのが方向と思う。懐かしいでも面倒くさいとかく音信不通になりがちである。未来の事も過去の事もワープする時間をたくさん持つことが共存する道だと思う。寛容を伴って歩んでいきたい。



理事・広島支部長 中村孝義 ('72 GD)

校友会活動に積極的に参加されれば、沢山のTAMABIの先輩・後輩の方々との友情が実感できます。支部において、大きなイベントといえば作品展の開催です。日頃接点の少ない卒業生が集い発表し交流する意義は図り知れないエネルギーに満ち溢れています。卒業生は全国各地にいらっしゃいます。そして様々なジャンルで活躍されている皆様と共に、支部相互の繋がりをより堅固にし、交流の輪をさらに大きくすれば、新しい何かを見つけられるのではと思っています。会員・支部があつての校友会と信じ、皆様のお役に立てれば幸いです。



理事・須田基揮 ('74 油画)

先輩の影響もあって、高校1年の終わり頃には多摩美の「あぶら」に入って抽象を描くのだと、真面目な愛媛の伊予柑少年は口走っていました。楽しかった学生時代、鍛えられた助手時代を通して、良き師、良き先輩、良き友に恵まれ、多摩美にいて良かったと、今も思っています。そのせいか、勤め先では多摩美愛国主義と陰口をたたかれているらしいです。  
未だに迷惑をかけている恩師には、せめて理事の仕事では邪魔にならないよう気をつけ、少しでも役に立たねばと思っていますが、そんなことはあたりまえの前だー! …我が恩師の声が聞こえて来そうです。…よろしくお願ひ致します。

# 事務局だより

## ■第9回定期総会・イベントのご報告

2003年6月1日(日)に、第9回定期総会、ガーデン同窓会＆懇親会を開催しました。今年の「ガーデン同窓会」は、西暦の末尾に3のつく年の卒業生を対象とさせていただき、まずその学年幹事さんにご協力をお願いしました。事前に幹事会を行い「同級生を集めよう!」と意気込みはあったのですが、3年目の企画、まだまだ浸透していません。それでも、当日は約200名の卒業生・関係者にご参加いただくことができました。子供から大人まで、いろいろな人に参加して欲しいという想いもあり、同日は、卒業生の企画により子供を対象としたワークショップ「工作屋台」を展開しました。この企画では、大学の各部署、各研究室よりさまざまな「不要なもの」をご提供いただき、工作の材料とさせていただきました。いつのまにか大人も工作に夢中になっている光景はとても微笑ましく、家族でモノ作りの楽しさを味わえる場、また、卒業生が子供と一緒に母校に足を運んでいただける良い機会となりました。今年も昨年同様、夕方から通り雨にみまわれましたが、学内スタッフと参加者の迅速な対応のお陰で、全ての企画を無事に終了することができました。卒業生の皆さん、来年もご家族、お友達をお誘いあわせの上、ぜひ、上野毛キャンパスにお越しください。上野毛キャンパスというホームグラウンドで友人と再会し、楽しい時を一緒につくりましょう。



雨天のため室内でパーティー



ワークショップ「工作屋台」の様子



ガーデン同窓会に集まってくれた  
1993年美術学部二部デザイン学科卒  
業生のみなさん

## ■4美大校友会＆同窓会の交流会のご報告

2003年10月4日(土)に女子美術大学同窓会、武蔵野美術大学校友会、東京造形大学校友会と本会で交流会を開催しました。幹事は輪番制で、今回は多摩美校友会が幹事をつとめました。本学理事長にもご出席いただき、総勢38名。各会の活動状況や今後の方針など真剣なテーマでありながら、笑いが絶えない和やかな時間でした。今後も私達美大の校友会だからこそできること、そんなことを模索していきます。



天王洲アイルの会場にて



## ■第10回定期総会の開催のお知らせ

第10回定期総会を下記の日程で開催します。正会員の方には4月下旬に詳しいご案内をお送りします。また、次回は1944年・1954年・1964年・1974年・1984年・1994年の卒業生を対象とした「ガーデン同窓会」を同日に開催します。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

日程：2004年6月6日(日)，場所：本学上野毛キャンパス

## ■会費未納の卒業生へお願い

校友会の運営のため会費納入のご協力をお願いいたします。終身会費は30,000円です。分納10,000円(3回)も可能ですので、ぜひ、ご協力をお願いいたします。

## ■展覧会・イベント情報をお寄せください

校友会のホームページでは、卒業生のホームページ・展覧会・イベント・出版情報を掲載しています。事務局へDMやフライヤーをお送りいただければ、随時掲載いたします。

## ■住所変更は校友会事務局へ

前回の2002年の名簿発行以後、当面の名簿発行の予定はございません。しかし、会員の情報は継続して更新しています。住所変更や勤務先変更などありましたら、ご連絡ください。FAX、電話、Eメール、ハガキ、などの方法でも結構です。ご協力をお願いいたします。

## 収支報告書

多摩美は2005年で創立70周年を迎えます。1986年には創立50周年を記念して『多摩美術大学50年史』を編集刊行しましたが、今回は『多摩美術大学70年史』の出版に向けて、本年度から企画広報部内に70年史編纂室を設置し準備をはじめました。多摩帝國美術学校、多摩造形芸術専門学校、多摩美術短期大学、多摩美術大学へと移りゆく多摩美を振り返り、卒業生や教職員の方々からお話を伺ったり、当時の写真や印刷物などの収集を行い、多摩美の歴史の構築を目指しています。つきましてはさまざまな記録、写真資料をお持ちでしたら当編纂室までご連絡いただきたくお願いいたします。寄贈いただきました資料については永く保存、活用させていただきます。

70年史編纂室 伊藤憲夫、恋川智子

〒158-8558 東京都世田谷区上野毛3-15-34

tel: 03-3702-1168 fax: 03-3702-9416

e-mail: ito@tamabi.ac.jp



1951年3月10日、多摩造形芸術専門学校卒業式（町田萬信氏寄贈）

## 平成14年度収支計算書

## 平成15年度予算

●収入の部		(単位:円)			●収入の部		(単位:円)		
科目		予算額	決算額	差異		予算額	前年度比		
〈当期収入合計〉		45,750,000	54,297,596	△8,547,596		33,100,000	72%		
会費収入		30,000,000	36,604,000	△6,604,000		30,000,000	100%		
名簿収入		2,500,000	3,267,804	△767,804		50,000	2%		
懇親会費		400,000	221,000	179,000		400,000	100%		
大学助成金		200,000	0	200,000		0	-		
利子収入		150,000	1,750,172	△1,600,172		150,000	100%		
名簿出版準備金からの繰越収入		10,000,000	10,000,000	0		0	-		
雑収入		2,500,000	2,454,620	45,380		2,500,000	100%		
奨学生基金		0	0	0		0	-		
〈前年度繰越支払資金〉		16,143,698	16,143,698	0		24,785,243	154%		
収入合計		61,893,698	70,441,294	△8,547,596		57,885,243	94%		

●支出の部		(単位:円)			●支出の部		(単位:円)		
科目		予算額	決算額	差異		予算額	前年度比		
〈経費支出〉		30,264,000	21,364,786	8,899,214		25,000,000	83%		
広報費		1,200,000	619,920	580,080		1,000,000	83%		
名簿管理費		10,200,000	7,234,924	2,965,076		1,500,000	147%		
企画運営費		1,550,000	931,431	618,569		6,000,000	387%		
総会費		1,500,000	1,780,262	△280,262		1,700,000	113%		
助成活動費		3,264,000	1,654,466	1,609,534		1,664,000	51%		
会議費		100,000	21,377	78,623		100,000	100%		
理事活動費		400,000	273,540	126,460		200,000	50%		
交通費		700,000	155,260	544,740		1,000,000	143%		
会合費		300,000	237,188	62,812		300,000	100%		
備品・消耗品費		1,100,000	1,313,884	△213,884		1,000,000	91%		
通信費		3,400,000	2,737,621	662,379		3,370,000	99%		
振替手数料		150,000	50,455	99,545		150,000	100%		
事務局員給与		3,300,000	1,984,445	1,315,555		4,300,000	130%		
奨学生		2,000,000	2,000,000	0		2,000,000	100%		
予備費		1,000,000	349,672	650,328		616,000	62%		
雑費		100,000	20,341	79,659		100,000	100%		
〈その他の支出〉		26,000,000	26,000,000	0		27,708,735	107%		
基本準備金引当金		20,000,000	20,000,000	0		20,000,000	100%		
名簿出版準備金引当金		3,000,000	3,000,000	0		3,000,000	100%		
特別事業費引当金		3,000,000	3,000,000	0		3,000,000	100%		
前期末未払金		0	0	0		1,708,735			
〈調整勘定〉			△1,708,735	1,708,735					
期末未払金			△1,708,735	1,708,735					
〈次期繰越支払資金〉		5,629,698	24,785,243	△19,155,545		5,176,508	92%		
支出合計		61,893,698	70,441,294	△8,547,596		57,885,243	94%		

## 基金積立

(単位:円)

科目	基本準備金	奨学生基金	名簿出版準備金	特別事業積立金	全基金積立額
平成7-14年度	95,000,000	3,765,511	4,000,000	14,000,000	116,765,511
平成15年度	20,000,000		3,000,000	3,000,000	26,000,000
合計	115,000,000	3,765,511	7,000,000	17,000,000	142,765,511

# 第9回定期総会議事録

日時 2003年6月1日(日) 12:30~13:50

会場 多摩美術大学上野毛キャンパス(3号館3階3-303講義室)

## ■開会の挨拶 司会:小泉雅子('83GD)

## ■議長の選出 議長:福垣行一郎('54団平)

## ■書記の選出 書記:松下宣廉('69日画)

## ■議長より総会成立条件の報告

(議決権所有者5,078名中、出席者74名・委任状415名)

## ■議長が講事進行を宣言

### 〈議案第1号〉平成14年度事業計画の報告

#### ●和田達也事務局長('81PD)より説明(資料の読み上げ、以下に抜粋)

##### 〈主な事業内容の報告〉

○新入生へのお祝いとして、八王子キャンパスに植樹(ソメイヨシノ6本・ザクロ2本・アンズ2本)、上野毛キャンパスにベンチ1個を寄贈、技法書「新しいシリクスクリーン入門」を進呈(4月1日)

○「東京国際ミニプリントトリエンナーレ2002」の協賛(多摩美術大学美術館／4月28日～6月30日)

○第42回理事会(5月18日)

○第8回定期総会

東海林隆が会長に再任。鶴見雅夫が副会長に就任。福垣行一郎が副会長に再任。和田達也が事務局長に再任。金岡岩雄が専任理事に再任。(6月2日)

○第8回支部長懇談会(6月2日)

○ガーデン同窓会&懇親会パーティー(6月2日)

○生涯学習特別公開講座の後援(天野祐吉「谷内六郎の宇宙」上野毛キャンパス講堂／6月2日)

○私費留学生奨学生を5名に給付(6月2日)

○第43回理事会(7月27日)

○第44回理事会・幹事会(10月5日)

○平成14年度奨学生を15名に給付(10月5日)

○「2002多摩美術大学校友会・卒業生名簿」発行(3,000部／11月1日)

○八王子芸術祭の助成(11月1日)

○上野毛芸術祭の助成(11月1日)

○会報「aT」NO.8発行(11月10日)

○「多摩美術大学校友会小品展2002」の開催(ガレリアセルテ・せんたあ画廊／12月15日～21日)

○第45回理事会(CERTE／12月15日)

○多摩教育の会「新春の集い」の後援(上野毛キャンパス)

○第46回理事会・新年会(横浜グランドインターナショナルホテル／1月11日)

○第6回美大校友会・同窓会親睦交歓会(三笠会館／1月24日)

○第47回理事会(上野毛キャンパス／3月3日)

●議長が質問を受け付けたが、質問はなく拍手多数によって議案第1号は承認された。(議案第2号) 平成15年度事業計画

●和田達也事務局長('81PD)より説明(資料の読み上げ、以下に抜粋)

##### 〈主な事業計画案〉

○新入生へのお祝いとして、八王子キャンパスに植樹(ソメイヨシノ9本・ザクロ1本／4月1日)

○新入生へのお祝いとして、上野毛キャンパスにベンチ1個を寄贈(4月1日)

○第48回理事会(5月17日)

○第9回定期総会(6月1日)

## ○第9回支部長懇談会(6月1日)

## ○ガーデン同窓会&懇親会パーティー(6月1日)

○生涯学習特別公開講座の後援(山川静夫「歌舞伎がばくを変えた」上野毛キャンパス講堂／6月1日)

○私費留学生奨学生を5名に給付(6月1日)

○第49回理事会(7月26日)

○第7回4美大校友会・同窓会親睦交歓会(予定)

○第50回理事会・幹事会(10月25日)

○平成15年度奨学生を15名に給付(10月25日)

○会報「aT」NO.9発行(11月10日)

○八王子芸術祭の助成(11月1日)

○上野毛芸術祭の助成(11月1日)

○「多摩美術大学校友会小品展2003」の開催(ギャラリーくばた／12月8日～14日)

○第51回理事会(12月13日)

○多摩教育の会「新春の集い」の後援(予定)

○第52回理事会・新年会(1月24日)

○第53回理事会(3月6日)

## ○新規事業(案)

○富山支部設立準備

○愛媛支部設立準備

○ニューヨーク支部設立準備

○大学創立70周年(2005年)記念事業にむけての検討

●議長が質問を受け付けたが、質問はなく拍手多数によって議案第2号は承認された。

(議案第3号) 平成14年度決算報告

●金岡岩雄理事('58油画)より説明※平成14年度収支報告書参照

●議長が質問を受け付けたが、質問はなく拍手多数によって議案第3号は承認された。

(監査報告)

●神田昭夫監査('59団平)より報告

●議長が質問を受け付けたが、質問はなく拍手多数によって監査報告は承認された。

(議案第4号) 平成15年度予算(案)

●金岡岩雄理事('58油画)より説明※平成15年度予算参考

●議長が質問を受け付けたが、質問はなく拍手多数によって議案第4号は承認された。

(議案第5号) 役員改選(案)

●和田達也事務局長('81PD)より説明(以下に抜粋)

理事退任:藤丸國彦('57油画)、佐々木周平('60图案)、太田幸夫('62団平)、柳田隆一('67油画)、田舎恭治('72油画)、故・丸山剛('73GD)

理事新任:中森陽三('59油画)、神谷紀雄('63彫刻)、中野嘉之('68日画)、田中康夫('71油画)、中村季義('72GD)、須田基揮('74油画)

●議長が質問を受け付けたが、質問はなく拍手多数によって議案第5号は承認された。

## ■支部長・支部代表の紹介

■議長が全議案の成立を報告し、第9回定期総会の終了宣言をした。

■挨拶 校友会会長:東海林隆('57图案)

■挨拶 大学理事長:藤谷宣人